

土地更地化、事業で受注拡大 5期連続増収の売上高20億円見込む

桑原組

中国地方を中心に総合解体工事業を展開する桑原組（西区己斐本町3-17-24、桑原明夫社長）は、第50期の2015年11月期決算で前期比約30%増の売上高20億円を目指す。数年前に事業化した「ワンストップ土地更地化」サービス（1月30日に商標登録）が順調に伸び、総売り上げの30%までに拡大。業歴50年で培った技能集団としての総合力を生かし、建物解体工事から環境対策工事へ土地活用コンサルティングまでこなす企画提案型の営業を強化していく構えだ。

土地更地化サービスは、土壌汚染やアスベスト、ダイオキシン類の処理、二酸化炭素（CO₂）排出削減などの環境対策工事を主体に、不動産活用の企画提案まで一貫体制で対応する。これまでに官公庁ほか、電力系施設、医療施設、家電・タバコメーカー、建設機械の製造工場向け大型工事などを手掛け、受注実績は累計10件に上る。解体現場に専用プラントを持ち込み、その場で汚染土壌を浄化し更地に戻す工法も実施。跡地の利用計画なども考慮し、価格競

争に巻き込まれない企画提案型の営業で直接取引の割合を高めている。かつて売上高は7億円台に落ち込んでいたが、09年から本格的な土地更地化サービスに乗り出し、14年11月期は売上高17億3000万円、4期連続増収を果たした。今期で5期連続増収がほぼ確実の見通し。今後とも解体、土地活用にかかわる技能集団の力に磨きをかけ、従業員の資格取得などを積極的に支援していく方針。解体業では珍しい大臣（特定）建設業許可やISO9001（品質マネジメントシステム）認証のほか、従業員の9割が一級建築施工管理士や建設技能士、土壌汚染管理士などを含めた資格を持つ。桑原社長は「次第に老朽ビルも増えており、解体工事を軸に幅広い事業者とのかかわりを通じて新規事業を探っていく」としている。

レックスコーポレーション 南観音にとんかつ専門店

飲食店運営のレックスコーポレーション（中区大手町3-3-27、龍野芳秋社長）は、広島県産にこだわったとんかつ専門店「紅かつ」の店舗展開を開発し、西区南観音7-12-130に1号店の広島南観音店を3月19日オープンする。山県郡北広島町の芸北高原豚やJA三次産ひとめぼれを使い、定食価格は一般的なとんかつ専門店は1000円（税別）

以上だが、それ以下に設定した。芸北高原豚のもも肉だけを使ったミルフィーユかつ定食790円をはじめ、国産豚のかつ定食数種類のほかカツ丼やカツカレーなどもそろえる。生パン粉を使い注文が入ってから仕込んで揚げる。ソースは無添加でオリジナル仕様にした。定食にはカレースープが付き、ご飯の量を選べる。価格は600〜900円台。店舗面積30平方メートル、客席30席、営業時間は午前11時〜深夜0時。ブランドカラーの紅色は紅葉と厳島神社の朱をイメージした。

▽山下江法律事務所は3月26日午後6時半から中区上八丁堀のアーバンビュースタンドタワー1階TOWAN Iで第13回企業法務セミナー「民事裁判シミュレーション」もしもあなたの会社が訴えられたら」を開く。ある企業が訴えられたという架空の事件を題材に、裁判の流れを疑似体験する。裁判で不利にならない注意すべき点を理解し、裁判に巻き込まれるのを回避できるポイントを解説。講師は加藤泰弁護士。受講料は懇親会込み6000円（顧問会社3000円）。参加者は1カ月以内に1時間の無料相談ができる。

広島名産 広島デコポン
広島・本通 長崎屋
(082) 247-2275



本格焼酎
産
産
馥郁たる時をつむぐ。
中国醸造株式会社
お酒は20歳を過ぎてから。